G空間関連 令和8年度予算政府案の概要等

【単位:百万円】

金額は関連予算含む。十万円の位(小数点第一位)を四捨五入。
施策単位で額を確認できるものについてのみ集計。内数は集計外。

省庁名	令和６年度補正＋令和７年度当初			令和７年度補正＋令和８年度当初			主　な　施　策
		令和６年度補正予算額	令和７年度当初予算額		令和７年度補正予算額	令和８年度当初予算額	
内閣官房・内閣府（警察庁・デジタル庁含む）	31,632	14,156	17,476	37,235	18,900	18,335	実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進、 小型衛星コンステレーションの構築加速のための実証を通じた商業化の加速やアンカーテナンシーを通じた利用拡大、 新総合防災情報システムの整備と運用、 物資調達・輸送調整等支援システムの運用、 住所・所在地関係データベース（アドレス・ベース・レジストリ）の町字情報の整備、 海洋状況把握（MDA）及び情報の利活用の推進、 自律型無人探査機（AUV）の開発・利用の推進 ほか
総務省	291	100	191	385		385	次世代航空機搭載合成開口レーダーによる観測技術の確立に向けた実証観測、 緊急消防援助隊動態情報システムの運用、 ヘリコプター動態管理システムの整備・運用 ほか
法務省	5,156		5,156	5,261	35	5,226	筆界特定の推進、 法務局地図作成事業、 衛星測位を利活用したGPS測量推進事業
財務省	3		3	3		3	国有財産情報公開システムの運用
文部科学省	10,848	1,200	9,648	10,224	529	9,695	地球観測衛星の継続的開発、利用実証等（官民連携光学ミッション等）、 国際的な宇宙開発利用の進展と人材育成のためのプログラム ほか
厚生労働省	441	66	375	461	86	375	災害時保健医療福祉活動支援システム（D24H）の運用、 広域災害・救急医療情報システム（EMIS）代替サービス提供・運用等
農林水産省	17,759	13,940	3,819	30,768	25,368	5,400	スマート農業技術開発・供給加速化対策（R7補正）、 スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業、 農林水産省地理情報共通管理システムの利用の推進、 森林資源情報のデジタル化（R7補正）、 人工衛星・漁船活用型漁場形成情報等収集分析事業 ほか
経済産業省	1,945	5,796の内数（※）	1,945	2,118	関連予算の内数（※）	2,118	衛星通信等の技術を活用した運航管理技術の開発、 洋上風況マップ（NeoWins）の整備・運用 地域の社会課題解決に向けたデジタルライフライン整備加速事業（R7補正） ほか
国土交通省	41,360	13,410	27,950	42,388	13,854	28,534	i-Constructionの推進による３次元データの利活用の促進、 電子国土基本図の整備・更新・３次元化等、 ３Ｄ都市モデルの整備・活用・オープンデータ化、 特殊車両通行制度の利便性向上、 建築・都市のDXのキーとなる「不動産ID」の整備推進（R7補正）、 水害リスクマップ ほか
環境省	6,635	1,286	5,349	5,605	150	5,455	環境アセスメントデータベース（EADAS）の運用、 再生可能エネルギー情報提供システム「REPOS」、 GOSATシリーズによる地球環境観測事業等 ほか
防衛省	1,739	300	1,439	4,536	関連予算の内数（※）	4,536	災害対処等に資する地理空間情報に係るデータの整備、 自衛隊の災害派遣活動における災害用ドローンの活用、 自衛隊による衛星測位の利用 ほか
総計	117,809	44,458（※を含まない）	73,351	138,984	58,922（※を含まない）	80,062	
対前年度比				1.18	1.33	1.09	

G空間関連　令和8年度予算政府案の概要等（主要施策）

地理空間情報を高度に活用する「G空間社会」の実現に向けて、地理空間情報活用推進基本計画に位置付けられたシンボルプロジェクトの着実な進展や、関係府省の連携による政策パッケージの取組を推進する。

1. 自然災害・環境問題への対応

○統合型G空間防災・減災システムの構築の推進

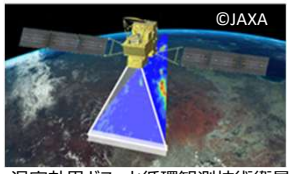
・新総合防災情報システムの整備と運用
【内閣府：1，620百万円（R7補正）、
1，026百万円（R8当初）】

○小型SAR衛星コンステレーション

・小型SAR衛星コンステレーションの利用拡大に向けた実証
【内閣府：2，295百万円の内数（R8当初）】

○地球観測衛星による気候変動等の地球規模課題解決への貢献

・気候変動等に係る地球観測衛星の運用
【文部科学省：4，631百万円（対前年度1．03倍）（R8当初）】
・温室効果ガス観測技術衛星の運用
【環境省：4，036百万円（対前年度1．04倍）（R8当初）】



温室効果ガス・水循環観測技術衛星
GOSAT-GW（いぶきGW）

2. 産業・経済の活性化

○スマート農業の加速化などデジタル技術の利活用の推進

・スマート農業技術開発・供給加速化対策等
【農林水産省：24，628百万円（R7補正）】
・スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート事業等
【農林水産省：2，575百万円（対前年度32．19倍）（R8当初）】
・eMAFF地図の利用の推進
【農林水産省：　5，475百万円の内数（R7補正）、
13，551百万円の内数（R8当初）】

中山間地域向けのドローンの開発や
管理作業機の小型化
（非乗用型への転換など）

○i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進

・i-Constructionの推進による3次元データの利活用の促進
【国土交通省：1，642百万円（R7補正）、
8，862百万円（対前年度1．11倍）（R8当初）】

○不動産ID

・ 建築・都市のDXのキーとなる「不動産ID」の整備推進
【国土交通省：300百万円（R7補正）】

建設機械施工の自動化

3. 豊かな暮らしの実現

○「空間ID」を含む4次元時空間情報基盤の整備

・地域の社会課題解決に向けたデジタルライフライン整備加速事業
【経済産業省：1，549百万円の内数（R7補正）】

複数の地方公共団体による広域的な
まちづくり施策への3D都市モデルの活用

○3D都市モデル「PLATEAU」

・3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化
【国土交通省：　150百万円（R7補正）、2，309百万円（対前年度1．00倍）（R8当初）】

4. 地理空間情報基盤の継続的な整備・充実等

○高精度測位時代に不可欠な位置情報の共通基盤「国家座標」の推進

・電子国土基本図の整備・更新・3次元化等
【国土交通省：3，756百万円（R7補正）、1，605百万円（対前年度1．01倍）（R8当初）】
・電子基準点の運用による位置情報サービスの発展への貢献等
【国土交通省：1，682百万円（R7補正）、853百万円（対前年度0．93倍）（R8当初）】

○準天頂衛星システムの開発・整備及び測位能力向上の推進

・実用準天頂衛星システムの開発・整備・運用の推進
【内閣府：17，120百万円（R7補正）、
16，906百万円（対前年度1．00倍）（R8当初）】

○自律型無人探査機（AUV）の開発・利用の推進や海洋状況把握（MDA）及び情報の利活用の推進

・自律型無人探査機（AUV）の社会実装に向けた実証調査事業
・多様な地理空間情報との連携の強化
【内閣府：700百万円の内数（R7補正）、629百万円の内数（R8当初）】

準天頂衛星システム7機体制

5. 地理空間情報の整備と活用を促進するための総合的な施策

○RESAS（観光等）

・地域経済分析（RESAS）・地方創生データ分析評価プラットフォーム（RAIDA）等による地方版総合戦略支援事業
【内閣府：107百万円（対前年度1．00倍）（R8当初）】

○イチBizアワード

・地理空間情報等を活用したビジネスアイデアコンテストの開催
【内閣官房：41百万円の内数（R8当初）】